

交流 20 周年の導き

～ 日章旗がショウニー市訪問団から遺族へ返還 ～

8月5日、米国・ショウニー市との姉妹都市交流 20 周年記念パーティー会場で、60 年以上前に戦死した日本兵の遺品である「寄せ書き入りの日章旗」が、姉妹都市交流で訪問中の中学生の手で、遺族の星義秋さん（福島県南会津町）の元に返還されました。

先の6月にショウニー市を訪問した、本市の市民訪問団員のホームステイ宅、クリス・シャーマンさんが大切に保管していたもの。帰国後の調査により持ち主が判明し、姉妹都市交流でにかほ市を訪れた長女エマさんが持参し、返還が実現したものです。



日章旗を持つエマさん（中央）と星さん（右）

和太鼓の響きに酔いしれる

～ 第 21 回日本海に響け！太鼓の祭典 & 第 24 回秋田県太鼓フェスティバル ～

7月31日、「第21回日本海に響け！太鼓の祭典」と「第24回秋田県太鼓フェスティバル」が同時開催され、会場となった仁賀保体育館には、約450人の観客が詰めかけました。

仁賀保太鼓伝承会による大太鼓で開演し、前半は、市内小学校の太鼓クラブや太鼓教室など、子どもたちが日ごろの練習の成果を披露しました。後半は、象潟九十九島太鼓など県内外10団体が力強いばちさばきで観客を魅了。最後は出演者全員による合同演奏が行われるなど、会場は終始大きな拍手につつまれていました。



参加団体全員による合同演奏

万全の態勢でサポート 親子で登山

～ 鳥海山トレッキング ～

8月1日、市体育指導委員会による鳥海山トレッキングが、総勢16名が参加し行われました。

体育指導委員と消防署員がサポートし、十分な安全が確保されたトレッキングは、5合目鉾立駐車場を8時40分にスタート。目的地の御浜は強風のためゆっくり休憩とはなりませんでしたが、下山途中の昼食時には参加者同士で会話が弾むなど楽しい時間を過ごしました。

霧と風の気象条件でしたが、万全の態勢で安全で安心な登山をすることができたことは、参加者にとって貴重な体験となったようです。



登山道沿いに咲く高山植物を囲んで

艶やかな西施の舞

～ 第 21 回西施まつり ～

7月31日、市国際交流協会主催による第21回西施まつりが行われました。

ことしの「西施娘」に選ばれたのは、仁賀保高校1年の佐々木樺麗さんと須藤里朋さん。2人は蚌満寺の西施像と芭蕉像に献花し、艶やかな「西施の舞」を披露しました。

その後、象潟公民館に会場を移動し、詩吟、中国語の歌、舞踊、胡弓演奏などが行われました。



西施像前で優雅な舞を披露

消防防災体制のさらなる強化を

～ 由利本荘市・にかほ市消防広域化協議会設立総会 ～

7月26日、本荘由利広域行政センターで、由利本荘市・にかほ市消防広域化協議会の設立総会と第1回協議会が開催されました。協議会は、消防行政の効率的な運用と住民ニーズに応える消防のため、2市の消防本部の広域化が必要として設立されたもので、議会や消防関係者、市民など10名が委員に委嘱されました。

平成24年度中の広域化を目標とし、統合後の運営は、本荘由利広域市町村圏組合による一部事務組合方式とすることなどが確認されました。

夏休みの思い出に

～ 「初めての農業体験 in 横岡」開催 ～

8月2日から3日にかけて、横岡地区で、市内の小学生を対象とした「農業体験」が行われました。にかほグリーン・ツーリズム推進協議会（齋藤俊之会長）が主催したもので、農業体験未経験の小学4～6年生21名が参加し、初めての農村生活を体験しました。

子どもたちは地区の農家に宿泊しながら、横岡子ども会と一緒に野菜の収穫作業を体験。大きなカボチャや太ったナスの収穫などに大満足な様子でした。また、そば打ちや笹巻き作り、散策しながら地区の歴史や伝統に触れることができ、夏休みの貴重な体験となったようです。



自分たちで収穫した野菜を持って記念撮影

岩ガキがなくて残念！

～ 第14回きさかた「港」海の幸まつり ～

7月31日、きさかた「港」海の幸まつりが、道の駅「ねむの丘」を会場に行われました。

今が旬のはずの岩ガキは、出漁できない日が続いたため準備できず、岩ガキ目当てでやって来た観光客からは「エーッ。残念」の声。会場に設置された大漁旗も、勢いをなくしているようでした。

それでも多くの観光客や家族連れなどが、炭火で焼かれた海の幸を楽しみました。

子育てしやすいまちづくりを

～ 子ども・子育て支援に関する意見交換会 ～

8月4日、象潟庁舎で、子育てしやすいまちづくりなどについて、市や県、子ども・子育て支援推進協議会委員、子育て家庭優待事業協力店代表者などによる意見交換が行われました。

子育て支援についての取り組みや今後の計画などが説明され、参加者からは「子育て家庭優待事業」の再周知の要望や総合的な対応の必要性などについての意見がありました。市では今年度中に「子育てハンドブック」を作成する予定であることなどについて報告をしています。